

<目指す学校像>
生徒が「日本一だ」と誇りをもって卒業することができる学校

<学校教育目標>
志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

熊谷東中学校だより
第1号

東雲

令和3年4月28日発行

4つの実践

- 箸ごはんをしっかりと食べる。
- 呼ばれたら「はい」と元氣よく返事をする。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- 友だちをたくさんつくる。

減運動

減 減 減

テレビの時間を減らします。 ゲームの時間を減らします。 スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方宣言

自分や周りの人の情報を守ります。

他人を傷つけません。

インターネットには書き込みや投稿をしない。悪質な内容から情報を見守り、正確な判断をします。

インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。噂話や虚偽の情報は拡散しないようにします。

インターネット上での発言は自己責任で責任を負います。

インターネット上での発言は自己責任で責任を負います。

熊谷市立熊谷東中学校生徒会

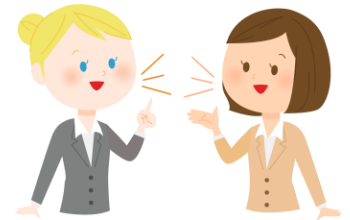
英語学習に成功する人、しない人

～5ラウンドシステムに取り組む意味がある～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

新年度がスタートしました。一昨年度末以来、感染症拡大に対する最大限の注意を払う学校生活に変化はありませんが、新入生155名を迎え、全校451名の生徒とともに全教職員が一致団結して今年度の熊谷東中学校の新しい歴史づくりに取り組んでまいります。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちの日常において「日本人と英語学習」に関わる話題がよく取り上げられます。その大半は、「日本人は中学校と高校で6年間、そして人によっては、さらに大学で2～4年学んでいても英語が話せるようになる人はそれほどいない。日本の英語教育は意味があるのだろうか?」というものです。



「グローバル社会」の英語教育を推進するため文科省は『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」を策定しました。この計画を受け、小学校中学年で「外国語活動」、高学年で「英語」の授業が始まり、中高の英語教師も授業中は基本的に英語で授業を行うこととされました。また、楽天やユニクロ、日産のように社内の公用語を英語にしている企業が年々増えていますが、現在日本社会において「職場で使える英語力」を身に付けている基準は以下のものが一般的です。

- (1) 英語でプレゼンテーションできる
- (2) 英語でビジネス上の交渉ができる
- (3) TOEICで最低800点以上取ることができる

言語学の研究分野に第二言語習得理論がありますが、外国語の学習にこれを実践していけばよいという絶対的な学習法はまだ存在していません。「動機づけ」「臨界期(年齢要因)」「日本語と英語との言語間の距離」「個人差(適性、性格等)」など様々な要因が英語学習には関わっています。それらを検証することは研究者に任せるとして、中学生や高校生が向き合うべきことは英語に触れる量(インプット)を増やすべきであると私はいつも考えます。言語習得の天才は赤ちゃんですが、彼らは5歳児になる頃までに約17,520時間の母語によるインプットを受けているそうです。仮にこれを目安にすれば、1日3時間毎日英語を勉強し続けても5,840日、約16年かかる計算になるのです。ある研究者によれば、日本人が中高大を合わせた平均的な英語学習時間は1,120時間だそうです。これに小学校外国語活動や英語授業が加わったとしても1,330時間位でしょう。英語を話す外国人の方が日本語を習得するのにかかる想定されている時間が2,200時間であることも考え合わせると時間が全然足りません。日本人の向き不向きまたは効果的な英語学習法について議論したり検討したりする前に、まずこの事実に向き合い対策を考えていく必要があるのです。英語の授業以外は、英語を耳にする機会がない生活環境だからこそできるだけ多くの英語をインプットし、そこから情報を取り込んだり、話の要点や概要をつかんだりする練習の機会を作りださねばならないのです。その練習の場を多く踏んでようやく話したり書いたりできるアウトプットの質も高まるはずです。<インプット→気づき→理解→内在化→統合→アウトプット> この学習過程を意識しながら、ぜひ今年1年の英語の勉強に取り組んでいきましょう。熊谷市全校で実施されている5ラウンドシステムによる英語指導は、まさにこの考えに基づいた指導法です。

グローバル社会に対応できる熊谷東中学校の生徒に成長して欲しいと切に願っています。



熊谷東中歳時記(4月)



新しい先生をお迎えしました

4月1日(木)から勤務に入る、今年度の新しい先生方をお迎えしました。部活動をしていた在校生や継続勤務になる先生方でお迎えし、新たなメンバーで新生熊谷東中学校としてスタートしました。今後も、保護者や地域の皆様と共に歩んで参りますので、よろしくお願いいたします。



無事、入学式を実施できました

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策のため、席の間隔をあけたり、式の内容を大幅にカットしたりといった対応で実施いたしました。少し緊張気味の155名の新入生が、無事、新クラスに分かれ、“がっ中学生”としてスタートが切れました。冷静な対応をしていた保護者の皆様をはじめ、地域の方々に感謝いたします。今後、“がっ中学生”は全校451名となります。よろしくお願いいたします。



	男子	女子	合計
1年	87	68	155
2年	74	80	154
3年	80	62	142
合計	241	210	451

令和3年度の熊谷東中学校です。チーム東でがんばります

校長：伊藤 幸男 教頭：井上 貴昭 教務主任：荒井 聖一

1年生	2年生	3年生	東雲学級
主任	主任	主任	主任
1組	1組	1組	1組
2組	2組	2組	2組
3組	3組	3組	養護教諭：
4組	4組	4組	事務主査：
副担任	副担任	副担任	
		副担任	

学力向上補助員：

ほほえみ相談員：

ALT：

スクールサポートスタッフ：

地域教育相談員：

学校運営協議会委員：

スクールカウンセラー：

日本語指導補助員：

給食補助員：

図書館補助員：

特別支援教育支援員：

学校用務員：



自転車点検ありがとうございました

4月22日(木)に自転車組合とPTAの方々のご協力により、生徒の自転車点検を実施しました。不備があった自転車については速やかに整備してください。点検に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。

